

2024 年 7 月 24 日

2023 年度「市民防災・減災活動公募助成」事業実施報告書

団体名 敬和学園大学

代表者・役職名 氏名 学長 金山愛子

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

段ボールジオラマを通じた市民の防災自助力の向上事業

2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

本団体は、社会課題解決に資する学生の育成と地域の再生・活性化を目的とする団体です。学生にとっては、実践の場が不足しており、地域には各種団体の硬直化という課題がありました。そこで、学生が地域企業や住民、NPO 等とのかわりを持ち、まちづくりに参画することで、地域に新しい視点をもたらし、学生、地域が共に成長する仕組みが必要と考え、設立されました。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

本学が位置する新潟県新発田市及び聖籠町では、長い間、大災害に見舞われていないこと、自治会等地域団体の高齢化等から、自主防災組織、避難所運営組織は設立時をピークに活動が停滞、消滅する傾向にあります。そこで、傾斜や窪地など災害時の危険を直感的に理解することができる「段ボール(防災)ジオラマ」の活用を通じて、市民の防災意識(防災自助力)を高め、地域防災活動への参画と活発化を促したいと考え事業の企画・実施に至りました。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

本事業では、市民の防災意識の向上と将来(現在)の地域防災を担う人材を育成するため、これまで団体が培ってきた防災活動に関する知見を土台に、本格的な「段ボール(防災)ジオラマ」等を用いた防災教育を実施しました。具体的には、①段ボールジオラマの作成、②防災イベントの企画、ブース設置等による同プログラムの発信、③特定地域(主に小中学校区)を対象とした防災プログラムの提供、以上3点を実施しました。②については、学園祭での発信のほか、防災に関わる地域企業、NPO、公共機関を巻き込んだ「まちづくりフェスタ」を企画・実施しました。また、③については、新発田市立東小学校に出張し、防災に関する体験型の講義を行いました。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

本事業では、主に、①市内企業、公的機関、社協、NPO 等を巻き込んだ「まちづくりフェスタ(2024 年 2 月実施)」②新発田市立東小学校での防災教育(2024 年 6 月実施)、という2つの取組によって、その成果を社会に還元しました。【結果】受益者数は、それぞれ、①800 名(推定来場者数)、②114 名(児童 58 名 / 保護者 56 名)です。【成果】①について、アンケートの有効回答者 20 名の内、17 名が防災意識の向上につながったほか、②について、体感的な学びから「火災時の避難方法」「たんかの使用方法」等の知識の定着に寄与しました。【社会的な変化】①防災を広くとらえ、企業の関わりしるを設けたことで、企業間、産学間の緩やかなつながりの形成という副次的効果が得られました。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

地域における防災意識の向上および防災活動の推進には、①すそ野を広げる継続的な啓発事業と「福祉」の領域を超えた緩やかなつながり、②防災意識の高いプレイヤー(自治会長等)を支える具体的な事業推進の仕組み、が重要だと考えます。したがって、まずは本事業のような取り組みをどのように継続するかがポイントといえます。本団体は、まさにこのような地域再生・活性化のための推進役として設立されたわけですが、堀野研究室が解散することになり、本団体としての継続が困難となりました。本団体が蓄積してきた地域防災等に関する知見やプログラムのノウハウをどのように地域に継承していくかが、本団体における最大の課題になっております。

7. 参考資料: プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。

◆【1】防災迷路 / 【2】防災クイズ / 【3】段ボール防災ジオラマ(五十公野地区)

* 【1】【2】の写真は新発田市立東小学校における取組の様子、【3】は「まちづくりフェスタ」での展示の様子

